

### 執筆者紹介（掲載順）

小 森 星 児	神戸山手大学学長	小 田 忠	大阪商業大学学術研究事務室参事
成 田 孝 三	大阪商業大学経済学部教授・ 大学院地域政策学研究科長	中 野 安	大阪商業大学総合経営学部教授
田 中 秀 夫	京都大学大学院経済学研究科教授	池 田 和 子	大阪商業大学大学院地域政策学研究科 博士前期課程修了
石 上 敏	大阪商業大学経済学部教授	瀧 澤 秀 樹	大阪商業大学経済学部教授
金 泰 虎	甲南大学国際言語文化センター助教	金 美 善	国立民族学博物館研究員

### 編集委員（50音順）

○片山隆男	大阪商業大学経済学部教授・副学長 ・経済学部長	○中野 安	大阪商業大学総合経営学部教授・ 総合経営学部長
後藤郁夫	大阪商業大学学術研究事務室長補佐	○成田孝三	大阪商業大学経済学部教授・ 大学院地域政策学研究科長
瀧澤秀樹	大阪商業大学経済学部教授・ 本研究所長	○前田啓一	大阪商業大学経済学部教授
常岡裕之	大阪商業大学事務局長	○矢野恵二	大阪商業大学経済学部教授・図書館長 (○は論文審査委員)

### ◇◇編集後記◇◇

今回の巻頭対談は、今日の大学運営に関する様々な示唆を含んだ、非常に現実的な内容であった。今や大学だけが特別な研究教育機関であるというのは幻想であり、積極的に地域社会の声を聞いて、そのニーズに応える姿勢を持たなければ、大学として成立しえない時代になっているという考え方が、議論の根底に流れている。地域社会の信頼があり、学生にとって魅力のある大学とは何かについて、再考を迫るものであった。職員の方々にも是非ご一読をお勧めする。

余談だが、この議論の中で、成田先生が昨年度の学位記授与式のBGMとして、「何やらハスキーな声の女性の歌が」流れていて驚いたというエピソードを話題にされ、内心ドキッとした。式の企画をしたのが、他ならぬ我々事務局の若手職員？であったからだ。しかし、「ただこれ学生にとっては非常に心地よい環境」であり、小森先生によれば、逆に校歌などは「今の学生にアピールしないものに大学側が固執していると言える」という結論に至り、ホッと胸をなでおろした次第である。  
(池田治司 記)

2002年7月20日 印刷

2002年8月1日 発行

地域と社会 第5号

編集兼発行所 大阪商業大学比較地域研究所  
東大阪市御厨栄町4丁目1番10  
電 話 06-6785-6139  
印刷所 株式会社 トープ